2020年7月31日

学生・教職員のみなさまへ

沖縄女子短期大学
危機管理対策委員長（学長）平田 美紀

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた行動指針について（更新）

沖縄女子短期大学

沖縄県内において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が大幅に増加していることから、本日31日（金）付け、行動指針の更新を発出いたします。本日の沖縄県内の新規感染者数は、70名に上り、この数日間の感染者数はこれまでの最多を更新し続け予断を許さない状況にあると捉えられます。沖縄県も警戒レベルを現在の第2段階から第3段階「感染流行期」に引き上げ、県独自の緊急事態宣言を発出する方針を固めました。

新規感染者の内訳として20代等の若年層が多いことや、飲食店における会食の場等を介した感染が指摘されており、大学生についてもこのような場所での感染例が確認されております（2020.7.28文科省通知）。長期にわたるコロナ禍において心身の疲れも出始めています。一人一人が「感染しない・感染させない」の意識をもち、皆で支え合いながら行動を遵守していきましょう。

本学では、引き続き、学生・教職員の健康と安全を守るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため取り組んでいきます。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

尚、今後の状況等を踏まえ、再更新の可能性があることを十分にご理解のうえ、本学公式ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ」等でのお知らせをこまめにご確認下さるよう、よろしくお願いいたします。

1. 新型コロナウイルス感染症対策に係る基本方針

学生やすべての教職員の健康を確保しつつ、本学の行う教育・研究活動を持続可能にしていくために、次の事項を徹底すること。

- （1）感染防止のため、3つの条件（換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、近距離での会話や発話が生じる密接場面）が重なることを徹底的に回避する。
- （2）感染源を断つことが重要であるため、学内への訪問者等は、原則入構を禁止する。
- （3）沖縄県の緊急事態宣言の方針を固めたことから、8月の補講期間の授業形態を全面遠隔授業とする。

2. 基本的な感染予防（接触・飛沫感染防止策）～“感染しない・感染させない”の意識を軸に～ 〔新しい生活様式〕を日常に据えていきましょう。

- （1）アルコールによる手指の消毒や水と石けんによる手洗いを徹底すること。
- （2）人との距離は2m（最低1m）空け、対面で座らない、人混みを避けること。
- （3）会食等の場（マスクを外す）で、大きな声や対面での会話を避けること。
- （4）複数人での同一箸等を使った食事を避けること。

- (5) 接待を伴う飲食の場、不要不急の外出を自粛すること。
 - (6) 施設設備（ドアノブ・エレベータボタン等の人が頻繁に触れる箇所）の消毒を実施すること。
3. 外部講師等の授業・講演について
- 外部から講師を招聘する授業や講演会については、当面の間、禁止する。
4. 出張・派遣・遠征等：8月31日まで、原則として禁止
- 教員・学生の県外・海外への出張・派遣・遠征については、原則として8月31日まで禁止する。県外・海外への旅行もできる限り自粛すること。但し、やむを得ない事情により渡航する場合は事前に届け出をし（学生は教学課、教職員は総務企画課）、帰省後は2週間の自宅待機をすること。
5. マスク着用について
- 症状がなくてもマスク着用を厳守すること。ただし、運動を行う場合はマスクの着用は必要ありません。また、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外し熱中症への対応を優先すること。
6. サークル・クラブ活動については、当面の間活動を禁止する。
7. 感染の不安が生じた場合などは、本学ホームページに掲載された「新型コロナウイルス感染症に対する問い合わせ」（2020年4月7日付け）や一斉メール配信された「新型コロナウイルス感染症に罹患している可能性がある場合について（お願い）」（2020年7月26日～8月20日まで毎日送信）にそって行動して下さい。
8. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱の症状のいずれかがある場合は、最寄りの医療機関（夜間の場合は救急病院）に連絡をして、その指示に従って下さい。